

MISS POLEDANCE JAPAN/POLE KING JAPAN 2019 競技規定及び同意書

<応募資格>

1. 20歳以上であること。(ただし、ショーケースカテゴリー、ダブルスは年齢不問とする。)キッズ/ジュニア部門を儲ける。キッズ6~14歳。ジュニア15~19歳。(予選締切時の年齢)
- ※未成年の場合保護者の同意書が必要。
2. 日常会話レベル程度の英語が話せること。
3. 日本に居住していること(永住権の有無や国籍は問わない)。
4. 犯罪歴など無いこと。
5. この競技規定をすべて読み同意すること。
6. 一般常識を兼ね備えた心身ともに健康な男女であること。

<出場者規定>

1. 大会期間中、常に礼儀正しく社会性をもって振舞うこと。
2. 決勝出場者は大会ホームページに顔写真と本名、簡単なプロフィール文・PR文章を掲載されることに同意すること。
3. 決勝出場者は所定の「記録映像・画像の著作権に関する同意書」に署名捺印すること。
4. 決勝出場者は大会の宣伝・報道のためのテレビ番組、ラジオ番組、映画、その他の媒体に出演・掲載されることを承諾すること。(大会においての出場者の画像・映像の所有権は主催者に帰する)
5. 出場者には、審査の点数などを希望すれば開示することが可能であるが、審査結果に関してのクレームなどは受け付けない。
6. 大会本部と選手のやりとりのメール、または内容をインターネット媒体、SNS等で公表共有された場合即刻失格となる。(予選通過の告示は認める)

<受賞者規定>(優勝者、準優勝者、第3位に適用)

1. 受賞者はいかなる場合にも手にした称号を悪用することはできない。
2. 受賞者はタイトル保持期間中、大会やポールダンス競技のイメージと尊厳を傷つけるような不道徳的・非合法的な行動・言動をするべきではない。もしそういった行動・言動が見られた場合タイトル剥奪もあり得る。
3. 受賞者はタイトル保持期間中、ポルノビデオ・ポルノ写真に出演してはならない。
4. 優勝者は大会が提携する国際大会や国際ポールダンス協会の公式行事のために、日本代表として世界各地を訪れ、各主催者が用意するショーやインタビュー、記者会見やその他のイベントに参加する権利を得る。
5. 優勝者はタイトル保持期間中、本大会以外のポールダンス大会に出場する場合、必ず本大会運営部にその旨を告げること。

<タイトル・出場権剥奪について>

1. 出場選手は、この同意書にあるいかなる契約条件への違反をしても、即、出場資格あるいはタイトルを剥奪される。
2. 出場選手は、大会に虚偽や違反、あるいは不正確な申告をしたと主催者が判断した場合、出場資格あるいはタイトルを剥奪される。

<失格・減点となる行為について>

1. マスターベーションや性行為を思わせるような動作は減点対象となる。あまりにもあからさまな場合は失格・退場もあり得る。
2. 常に下半身にしっかりと臀部を隠す衣装を身につけること。Tバックの水着や下着などは禁止とする。
3. 演技中、出場者は観衆と会話してはならない。
4. 自身の落下や負傷、ステージ破損につながるような、安全性を無視したパフォーマンスはしないこと。

<決勝競技規定>

《シングル（男女）/ダブルス/キッズ/ジュニア/アマチュアカテゴリー》

1. 予選（映像審査）を通過したもののみが決勝に進出できる。
2. 演技は一組あたり3分半以内。
3. 使用音源は事前にデータファイルで大会側に提出すること。使用音源はロイヤルティフリーのもの、又はJASRAC登録曲を使用すること。JASRAC登録曲の場合は使用料の支払いが必要です。後ほど協会より請求させていただきます。金額は曲によっても異なりますので詳細はJASRACまでお問い合わせください。
4. 客席から向って右側がスタティック、左側がスピニングとなる。
5. スピニング、スタティックの両方を同じ割合で使用するように演技する。あまりにもどちらかの使用のみ偏った場合、減点の対象となる。
6. 出場者が本規定にある事項を遵守しない場合など、大会本部は大会前あるいは大会中であろうとも、出場者から出場資格を剥奪する権利を持つ。
7. 選手控室は、選手の家族・友人の立入禁止とする。（キッズ/ジュニアの場合保護者一名同伴可）
8. 薬物の使用及び飲酒は禁止とする。また発覚した際には出場資格を剥奪する。
9. 手袋、シューズの着用は可とする。丈がくるぶしより上のシューズはブーツとみなし禁止。また衣装全般においてエナメル、革素材の着用は禁止とする。ただしグローブに限り革素材可。（エナメル不可）
10. ボディペインティングはポールに付着して、次の競技者の演技の妨げとなる可能性が高いため禁止とする。
11. コスチュームの一部を取り去ること、早着替えなどは、胸や股間などを露出しない範囲で許可する。
12. 装飾品（扇子やショール、帽子、おもちゃのピストルなど含む）の使用も許可する。ただし、すべて事前に大会側に報告すること。また、火を使用するものや危険なものは厳禁。ただし、小道具などが正常に動作しなかったり、途中で帽子やウィッグやサングラスがはずれてしまうなど、観客や審査員が興ざめするような突発的事態が起きると減点となることも承知の上で使用すること。
13. 紙吹雪など、演技後のステージ清掃が著しく必要となるものは禁止する。
14. 楽器演奏者、共演者など他者をステージにあげることは禁止とする。
15. 審査員はプレゼンテーション、ポールダンス・フロアダンス技術の完成度と難易度、芸術性とオーラ、コスチューム・メイク・音楽のマッチングなどを含めた作品全体の世界観及び完成度、をもとに出場者を審査する。

《ショーケースカテゴリー》

1. 予選（映像審査）を通過したもののみが決勝に進出できる。
2. 演技は一組あたり3分半以内。
3. 使用音源は事前にデータファイルで大会側に提出すること。使用音源はロイヤルティフリーのもの、又はJASRAC登録曲を使用すること。JASRAC登録曲の場合は使用料の支払いが必要です。後ほど協会より請求させていただきます。金額は曲によっても異なりますので詳細はJASRACまでお問い合わせください。
4. 2本あるポールはスタティックにするかスピニングにするか、グループの演出により自由に選ぶことができる。※2017年度より改訂

5. 人数は1グループ4名～10名以内で構成する。
6. 全体の作品としての完成度、世界観、ポールトリックとフロアムーブの融合とショーアップ要素で争う。
7. 一本のポールに複数人数が乗る場合、女性のみなら四人まで、男性が混じるなら三人までとする。
8. 出場者が本規定にある事項を遵守しない場合など、大会本部は大会前あるいは大会中であろうとも、出場者から出場資格を剥奪する権利を持つ。
9. 選手控室は、選手の家族・友人の立入禁止とする。
10. 薬物の使用及び飲酒は禁止とする。また発覚した際には出場資格を剥奪する。
11. 手袋、シューズの着用は可とする。丈がくるぶしより上のシューズはブーツとみなし禁止。また衣装全般においてエナメル、革素材の着用は禁止とする。ただしグローブに限り革素材可。（エナメル不可）
12. ボディペインティングはポールに付着して、次の競技者の演技の妨げとなる可能性が高いため禁止とする。
13. コスチュームの一部を取り去ること、早着替えなどは、胸や股間などを露出しない範囲で許可する。
14. 装飾品（扇子やショール、帽子、おもちゃのピストルなど含む）の使用も許可する。ただし、すべて事前に大会側に報告すること。また、火を使用するものや危険なものは厳禁。ただし、小道具などが正常に動作しなかったり、途中で帽子やウィッグやサングラスがはずれてしまうなど、観客や審査員が興ざめするような突発的事態が起きると減点となることも承知の上で使用すること。
15. 紙吹雪など、演技後のステージ清掃が著しく必要となるものは禁止する。
16. 楽器演奏者等他者をステージにあげる事を禁止する。

<採点基準> 男女シングル/キッズ・ジュニア/ダブルス/ショーケース

■テクニカル

技の難易度10 つなぎとコンビネーション10 独創性10 柔軟性と身体のライン10 力強さ10

■アート性

振り付け10 表現力、音楽との一体感10 オリジナリティ10 コスチューム、ヘアメイク10 ダンス、フロアの動き10

100点満点

■ペナルティ（減点）落下5 滑り5 規定違反（性的表現等）5 衣装トラブル5

《ヒール部門》（2019年度より新設）

1. 予選（映像審査）を通過したもののみが決勝に進出できる。
2. 演技は一組あたり3分半以内。
3. 男女共にエントリー可。性別を問わず同一カテゴリ内で審査する。
4. ソロ以外に2名でのエントリーも可能とする。
5. 使用音源は事前にデータファイルで大会側に提出すること。使用音源はロイヤルティフリーのもの、又はJASRAC登録曲を使用すること。JASRAC登録曲の場合は使用料の支払いが必要です。後ほど協会より請求させていただきます。金額は曲によっても異なりますので詳細はJASRACまでお問い合わせください。
6. 客席から向って右側がスタティック、左側がスピニングとなる。
7. スピニング、スタティックの両方を同じ割合で使用するよう演技する。あまりにもどちらかの使用のみ偏った場合、減点の対象となる。
8. 出場者が本規定にある事項を遵守しない場合など、大会本部は大会前あるいは大会中であろうとも、出場者から出場資格を剥奪する権利を持つ。
9. 選手控室は、選手の家族・友人の立入禁止とする。（未成年の場合に限り保護者一名同伴可）

10. 薬物の使用及び飲酒は禁止とする。また発覚した際には出場資格を剥奪する。
11. 手袋の着用は可。ヒールシューズの着用は演技の冒頭から最後まで必須とする。ブーツやエナメル、革素材の着用も可。ヒールはプラットフォームタイプ（底が厚いタイプ）に限る（ダンス用のサルサシューズなどは不可）。
12. ボディペインティングはポールに付着して、次の競技者の演技の妨げとなる可能性が高いため禁止とする。
13. コスチュームの一部を取り去ること、早着替えなどは、胸や股間などを露出しない範囲で許可する。
14. 装飾品（扇子やショール、帽子、おもちゃのピストルなど含む）の使用も許可する。ただし、すべて事前に大会側に報告すること。また、火を使用するものや危険なものは厳禁。ただし、小道具などが正常に動作しなかったり、途中で帽子やウィッグやサングラスがはずれてしまうなど、観客や審査員が興ざめするような突発的事態が起きると減点となることも承知の上で使用すること。
15. 紙吹雪など、演技後のステージ清掃が著しく必要となるものは禁止する。
16. 楽器演奏者、共演者など他者をステージにあげることは禁止とする。
17. 審査員はプレゼンテーション、ポールダンス・フロアダンス技術の完成度と難易度、芸術性とオーラ、コスチューム・メイク・音楽のマッチングなどを含めた作品全体の世界観及び完成度、更にヒールならではのムーブメントやトリックをもとに出場者を審査する。

<採点基準> ヒール部門

■テクニカル

ヒールwork(ヒールのさばき方)10 ヒール flow(ヒールならではのつなぎやコンビネーション) 10
 独創性 10 柔軟性と身体のライン(つま先のポイント含) 10 ポールトリック 10

■アート性

振り付け 10 表現力、音楽との一体感 10 オリジナリティ 10 コスチューム、ヘアメイク 10
 ダンス、フロアの動き 10

計100点

■ペナルティ（減点）

落下 5 滑り 5 規定違反（性的表現等） 5 衣装トラブル 5 ふらつき 5 転倒 5

<免責事項・権利事項>

1. 大会本部は、参加した出場者の負傷や怪我に関して責任を負わない。
2. 大会本部はここに記されたルールを変更する権利を有する。
3. 大会本部は、この規定に明記のない事項も決定する権利を有する。
4. 大会本部の決定には拘束力がある。

私は、以上の競技規定をすべて読み理解した上でその内容に同意し、2019年度Miss Pole Dance Japan 大会
／Pole King Japan大会に参加します。

住所・電話番号

氏名・印

署名日付

※未成年の場合に限り以下保護者の署名も必要とする保護者同意署名

氏名・印